

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	音楽Ⅰ	2	6	12	8

◇科目の目標

音楽の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

◇科目の概要

音楽の基礎的な知識・楽器奏法を学び、個性的・創造的な表現活動や音楽文化の深い理解を通して生涯教育の基礎を身につけさせる。

◇学習の進め方

レポートは教科書・音楽通論を参考に取り組む。

◇履修にあたっての留意点

通年科目です。レポート合格締切日までに課題が合格しない場合は、単位を認定できません。

◇使用教科書・副教材：音楽 I T u t t i + (教育出版)、音楽通論 (教育芸術社)

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授 業 内 容	教科書・音楽通論
1	4月23日 24日	・楽譜の仕組み…音の長さ①、《故郷》、校歌 ・鑑賞：ヴィヴァルディ《四季》	教科書 音楽通論第1章
2	5月7日 8日	・楽譜の仕組み…音の長さ②、ギター、発声 ・ギターに触れてみよう	教科書 音楽通論第1章
3	7月23日 24日	・楽譜の仕組み…音の高さ①、日本民謡 ・ウクレレで弾き語りに挑戦	教科書 音楽通論第2章
4	10月8日 9日	・楽譜の仕組み…音の高さ②、《Danny Boy》、雅楽 ・ギター弾き語りに挑戦①	教科書 音楽通論第2章
5	11月5日 6日	・楽譜の仕組み…記号①、箏、歌舞伎 ・ギター弾き語りに挑戦②	教科書 音楽通論第3章
6	12月10日 11日	・楽譜の仕組み…記号②、総合芸術、日本の大衆音楽、 ルイ・アームストロング ・ハンドベルを演奏しよう	教科書 音楽通論第3章

◇テスト範囲：テストはありません。

◇成績評価の方法

成績はレポート、面接出席時の実技演奏、面接出席状況等から総合的に評価します。  
【観点別学習状況の評価】の「知識・技能」は主として6通のレポートの取り組みを総合して評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は面接時の実技演奏を総合して評価します。しっかり取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えないものはCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	音楽Ⅱ	2	6	12	8

◇科目の目標

音楽の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

◇科目の概要

音楽の基礎的な知識・楽器奏法を学び、個性的・創造的な表現活動や音楽文化の深い理解を通して生涯教育の基礎を身につけさせる。

◇学習の進め方

レポートは教科書・音楽通論を参考に取り組む。

◇履修にあたっての留意点

通年科目です。レポート合格締切日までに課題が合格しない場合は、単位を認定できません。

◇使用教科書・副教材：音楽Ⅱ T u t t i + (教育出版)、音楽通論 (教育芸術社)

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書 ページ
1	4月30日 5月1日	・音楽の仕組み…音程①、世界の楽器、校歌 ・ギターでメロディを弾いてみよう	教科書 音楽通論第4章
2	6月25日 26日	・音楽の仕組み…音程②、ウクレレ、《キャッツ》 ・ウクレレで弾き語りに挑戦	教科書 音楽通論第4章
3	7月9日 10日	・音楽の仕組み…音階①、三線、《安里屋ユンタ》 ・三線を弾いてみよう	教科書 音楽通論第5章
4	10月22日 23日	・音楽の仕組み…音階②、ビートルズ ・ギター弾き語りに挑戦①	教科書 音楽通論第5章
5	10月29日 30日	・音楽の仕組み…和音①、ショパン ・ギター弾き語りに挑戦②	教科書 音楽通論第6章
6	12月3日 4日	・音楽の仕組み…和音②、音楽著作権 ・ハンドベルを演奏しよう	教科書 音楽通論第6章

◇テスト範囲：テストはありません。

◇成績評価の方法

成績はレポート、面接出席時の実技演奏、面接出席状況等から総合的に評価します。

【観点別学習状況の評価】の「知識・技能」は主として6通のレポートの取り組みを総合して評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は面接時の実技演奏を総合して評価します。しっかり取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えないものはCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	書道 I	2	6	12	8

◇科目の目標

書道の幅広い活動を通して、生活や社会の中の書や書の伝統と文化に関わり、基礎的な技術と鑑賞の能力の育成を目指す。

◇科目の概要

書道の歴史と古典の特徴等について学びながら、主に臨書と創作を通して筆使いや意図を表現する力を身に着ける。また、様々な作品を通じて作品の価値や見方を身に着け、鑑賞の能力を高める。

◇学習の進め方

レポートは教科書を参考に取り組む。作品は教科書とレポートをよく読み、取り組む。

◇履修にあたっての留意点

通年科目です。各レポート合格締切日を厳守。

◇使用教科書

東京書籍 書 I 701

◇スクーリング計画

回数	開講月日	番号	授業内容	教科書ページ
1	4/23・24	1	書写から書道へ（漢字かな交じりの書） ○書写と書道、用具・用材や姿勢・執筆法を学ぶ ○「私の一年間」の目標を半紙に作品制作をする	p2～9
2	5/7・8	2	漢字の書（楷書） ○書体の変遷、臨書について学ぶ ○「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」の臨書	p12～25
3	7/23・24	3	漢字の書（行書） ○行書の特徴、行書作品の鑑賞 ○篆刻について ○「蘭亭序」と「風信帖」の臨書	p38～58 p41～48 p132～137
4	10/8・9	4	漢字の書（隸書）・実用書 ○隸書の特徴・基本用筆を学ぶ ○「曹全碑」の臨書 ○実用書（封筒の書き方）	p62～65 p125
5	11/5・6	5	仮名の書 ○仮名の成り立ち、仮名の種類、用具・用材を学ぶ ○いろは歌、「蓬萊切」の臨書	p74～87
6	12/10・11	6	漢字仮名交じりの書・実用書 ○漢字仮名交じりの書の表現方法を学ぶ ○創作作品を制作する ○実用書（ボールペン字）	p106～123

◇テスト範囲 テストはなし

◇成績評価の方法

◇レポート、作品、面接時の出席状況・取り組み等から総合的に評価します。

〈観点別学習状況の評価〉

「知識・技能」は主として6通のレポートの取り組みを総合して評価します。

→よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC

「思考・判断・表現」は各レポート課題での作品を総合して評価します。

→完成度がたかいものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはC

「主体的に学習に取り組む態度」は面接時の出席状況・取り組みを合わせて評価します。

→出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えないものはC

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	書道Ⅱ	2	6	12	8

◇科目の目標

書道の創造的な活動を通して、生活や社会の中の書や書の伝統と文化に親しみ、個性豊かに表現を工夫したり、鑑賞の能力の育成を目指す。

◇科目の概要

書道の歴史と古典の特徴等について学びながら、主に臨書と創作を通して筆使いや意図を表現する力を身に着ける。また、様々な作品を通じて作品の価値や見方を身に着け、鑑賞の能力を高める。

◇学習の進め方

レポートは教科書を参考に取る。作品は教科書とレポートをよく読み、取る。

◇履修にあたっての留意点

通年科目です。各レポート合格締切日を厳守。

◇使用教科書

教育出版 書Ⅱ 703

◇スクーリング計画

回数	開講月日	番号	授業内容	教科書ページ
1	4/30・5/1	1	漢字の書(篆書) ○篆書の成立・変遷、特徴、基本用筆等を学ぶ ○篆刻の手順 ○「石鼓文」と「召尊」の臨書	p4～p17
2	6/25・26	2	漢字の書(隸書) ○隸書の字形、特徴、隸書作品の比較・鑑賞 ○「乙瑛碑」「曹全碑」の臨書	p20～p24
3	7/9・10	3	漢字の書(草書)・実用書 ○草書の成立と特徴、書道作品の鑑賞 ○「書譜」の臨 ○実用書(祝儀袋の書き方)	p30～p43
4	10/22・23	4	漢字の書(創作)・実用書 ○漢字の語句で創作作品を制作する ○実用書(ボールペン字)	p50～p53
5	10/29・30	5	仮名の書 ○仮名の古筆作品の鑑賞、仮名の基本を学ぶ ○「寸松庵色紙」の臨書 ○実用書(ボールペン字)	p58～p73
6	12/3・4	6	漢字仮名交じりの書・実用書 ○校歌のフレーズで創作作品を制作する ○実用書(ボールペン字)	p82～p95

◇テスト範囲 テストはなし

◇成績評価の方法

◇レポート、作品、面接時の出席状況・取り組み等から総合的に評価します。

〈観点別学習状況の評価〉

「知識・技能」は主として6通のレポートの取り組みを総合して評価します。

→よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC

「思考・判断・表現」は各レポート課題での作品を総合して評価します。

→完成度がたかいものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはC

「主体的に学習に取り組む態度」は面接時の出席状況・取り組みを合わせて評価します。

→出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えないものはC

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	美術 I	2	6	12	8

◇科目の目標

美術の諸活動を通し美術への理解をさらに深め、基礎的な表現力や見方を養う。

◇科目の概要

鉛筆・着彩デッサン、レタリング等基礎的な技術の習得を目標に学習する。

◇学習の進め方

教科書・学習書を中心にレポートを作成する。(作品の完成)

◇履修にあたっての留意点

通年科目です。レポート合格締切日までに課題が完了できなかった場合には単位を認定できません。

◇教科書 高校生の美術1 (日本文教出版)

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート番号	授業内容	教科書ページ
1	4/23, 24	1	鉛筆デッサン 「自画像を描く」	P18, 19, 20, 21, 132, 133
2	5/7, 8	2	水彩画 「桜の葉を描く」	P10, 11, 136, 137
3	7/23, 24	3	平面構成 「色の基礎学習」	P152, 153, 154
4	10/8, 9	4	水彩画 「りんごとコップの着彩デッサン」	P6, 7, 136, 137
5	11/5, 6	5	レタリング 「漢字のデザイン」	P74, 75, 149
6	12/10, 11	6	ルネサンス鑑賞 「レオナルド・ダ・ヴィンチのモナ・リザと ミケランジェロのダヴィデ像」	P46, 47, 48, 53, 54, 55

◇テスト範囲 テストはありません

◇成績評価の方法

成績は面接の出席状況・取り組みの姿勢・レポート、作品の完成度等から、総合的に評価する。十分満足できる状況を「A」、おおむね満足できる状況を「B」、努力を要する状況を「C」とし、観点別評価の「知識・技能」は、「作品制作や面接の取組み状況、美術の基本的な技術を理解し、美術の美しさを味わって鑑賞できているか」等により評価。「思考・判断・表現」は、「作品制作の過程、美術の良さや美しさを感じ取り、意図に基づいて構想し表現を工夫しているか」等により評価。「主体的に学習に取り組む態度」は、「出席状況、面接での説明を聞く態度、用具等の持参状況、学習内容や活動に関心を持ち主体的に取り組んでいるか」等により評価する。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	美術Ⅱ	2	6	12	8

◇科目の目標

美術の諸活動を通し、美術への理解をさらに深め、自己の表現活動を高める。優れた作品に接する。

◇科目の概要

デッサン力と構成力を高める。作品のねらいを明確にする。

◇学習の進め方

教科書・面接を中心にレポートを作成する。(作品の完成)

◇履修にあたっての留意点

通年科目です。レポート合格締切日までに課題が完了できなかった場合には単位を認定できません。

◇教科書 高校生の美術2 (日本文教出版)

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート番号	授業内容	教科書ページ
1	4/30, 5/1	1	鉛筆デッサン 「手を描く」	P20,
2	6/25, 26	2	木炭画 「ワイングラスを描く」	P18, 19
3	7/9, 10	3	イラストレーション 「ひまわりと夏」	教科書全般
4	10/22, 23	4	写真 「動物シルエット」	P54, 55
5	10/29, 30	5	デザイン 「万華鏡模様」	P68
6	12/3, 4	6	イラストレーション 「【学習のしおり】の表紙絵制作」	P18, 19, 20,

◇テスト範囲 テストはありません

◇成績評価の方法

成績は面接の出席状況・取り組みの姿勢・レポート、作品の完成度等から、総合的に評価する。十分満足できる状況を「A」、おおむね満足できる状況を「B」、努力を要する状況を「C」とし、観点別評価の「知識・技能」は、「作品制作や面接の取り組み状況、美術の基本的な技術を理解し、美術の美しさを味わって鑑賞できているか」等により評価。「思考・判断・表現」は、「作品制作の過程、美術の良さや美しさを感じ取り、意図に基づいて構想し表現を工夫しているか」等により評価。「主体的に学習に取り組む態度」は、「出席状況、面接での説明を聞く態度、用具等の持参状況、学習内容や活動に関心を持ち主体的に取り組んでいるか」等により評価する。